



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

経営健全化のため、実態の認識を

高萩・北茨城広域工業用水道企業団

9月28日に高萩・北茨城広域工業用水道企業団会議が開催されました。同企業団議員として福田明市議が出席し、発言しました。

会議では、平成20年度決算などが報告されました。豊田稔企業団長（市長）は、「取り巻く環境は依然としてきびしいが、今後とも企業誘致、契約水量の増量に向けてがんばる」とあいさつしました。

昨年度から地方公共団体の財政健全化に関わって「資金不足比率」の報告が義務づけられています。これについて企業団事務局からは「資金不足が算定されない」と記載した報告書が提出されました。

同企業団議員である福田明市議は「資金不足が算定されないというが、両市からの多額の補助金・負担金を注ぎ込んで補っているに過ぎない」と指摘。事務局は「両市からの借入金7億5500万円は、負債額から除ける規定なので、資金不足はないという計算になる」と答弁しました。

福田議員は「本来、資金不足比率が20%を超えれば『健全化計画』の策定を義務づけられる。当企業団も両市からの多額の補助金等がなければ、それをはるかに超えるのが実態である。資金不足なしの報告や認識からは、企業団の再建策や健全化も生みだせない。企業長として両市の負担軽減や経営の健全化をどのような方向で考えているのか」と質問。企業長は「八ツ場ダム等の問題もあり、この水を代替できないかとも考えている。県・国への支援の働きかけをつよめていきたいので議会の力も貸してほしい」と述べました。

なお、平成20年度の同企業団への両市からの繰入額は2億9470万円にのぼり、そのうち2億1100万円が北茨城市の負担となっています。



広い畑に一面のコスモス（関南町関本下）

を注ぎ込んで補っているに過ぎない」と指摘。事務局は「両市からの借入金7億5500万円は、負債額から除ける規定なので、資金不足はないという計算になる」と答弁しました。

福田議員は「本来、資金不足比率が20%を超えれば『健全化計画』の策定を義務づけられる。当企業団も両市からの多額の補助金等がなければ、それをはるかに超えるのが実態である。資金

計字
黒字
大会
保国

共産党の指摘

9月市議会で、一般会計・特別会計の決算に、鈴木やす子議員が反対討論をおこないました。その大要です。

平成20年度北茨城市一般会計の歳入歳出決算については別表のとおりである。歳出入額および差し引きの黒字額も、若干だが前年度より増加している。

予算には、3才未満児の医療費無料化、出産祝金の創設、ふれあいセンター改修などがあり、経費節減にもつとめ、予算を安易に使

金不足なしの報告や認識からは、企業団の再建策や健全化も生みだせない。企業長として両市の負担軽減や経営の健全化をどのような方向で考えているのか」と質問。企業長は「八ツ場ダム等の問題もあり、この水を代替できないかとも考えている。県・国への支援の働きかけをつよめていきたいので議会の力も貸してほしい」と述べました。

なお、平成20年度の同企業団への両市からの繰入額は2億9470万円にのぼり、そのうち2億1100万円が北茨城市の負担となっています。

過大な見積り
による値上げ

を裏付け

いきることなく、自治体として体力をつけるため積み立てにまわすなど努力も

平成20年度北茨城市決算
(千円以下四捨五入)

歳入総額	155億0519万円
歳出総額	149億7157万円
歳入歳出差引	5億3361万円
翌年度繰り越しを除いた実収支額	5億1987万円

介護保険研修会



9月11日、介護関係者を対象にした研修会が市役所で開かれました。講師は、市立総合病院の小山豊副院長。ご専門であるカテーテル診療の実際を話され、生活習慣病による動脈硬化の兆候として、下肢等の症状についても解説されました。

している。全体として、豊田市長が公約した市民生活重視の施策実現のため、苦労して実現したと評価できる。

しかし、この期においては、後期高齢者医療制度という、お年寄りだけ別枠に囲い込み差別医療を持ち込む制度が創設された。さらに国民健康保険事業特別会計では、国税の大幅値上げが盛り込まれた。市は当時、後期高齢者医療制度創設にともなうものだと答弁したが、共産党市議団は、改定が医療費の伸びを過大に見積もっているのではないかと指摘した。

決算をみると、いわゆる黒字額は19年度より1億円以上も増加し、20年度は1億5700万円を超える大幅な黒字となった。これを仮に加入世帯数で単純に割り算すると、1世帯あたり約2万円となる額である。

請願・陳情

「教育予算の拡充を求める請願」（茨城県教職員組合より）、「介護療養型病床廃止中止を求める意見書採択を求める陳情」「保険でより良い歯科医療の実現を求める陳情」（茨城県保険医協会より）の3本が提出され、いずれも教育・福祉の充実に求める内容で、全員一致で採択されました。